

市長定例会見

2023年12月26日

今日お伝えしたいこと

神戸海軍操練所と考えられる遺構を発見  
～神戸港発展の礎～

# 激動の幕末

○外国船の大阪湾来航 (嘉永7年|1854年)

- ・日本との通商を求め、ロシア艦隊が来航

○欧米諸国との通商条約締結(安政5年|1858年)

- ・横浜、長崎等とともに神戸開港が決定



京都に近い大阪湾沿岸の海防意識の高まり

〔西宮(御前浜)や兵庫(和田岬)に砲台築造〕

〔海軍施設の整備、人材の育成〕

大阪湾に来航したロシア船



神戸市立博物館蔵「天保山魯船図」

和田岬砲台



# 神戸海軍操練所の創設

## 概要

- ・ 勝海舟の献言により開設 (文久3年|1864年)

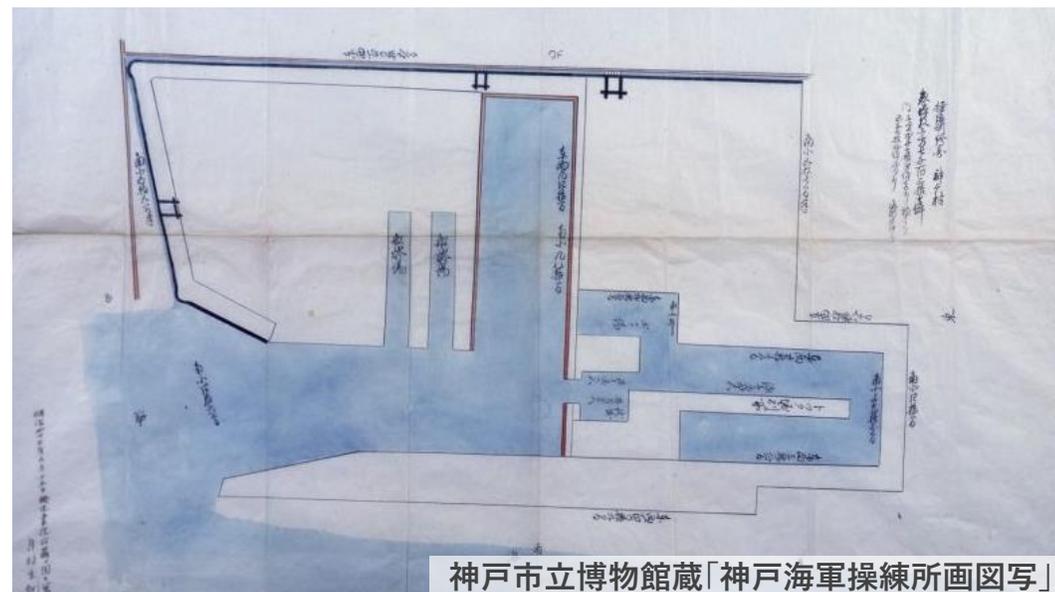
海軍士官養成や軍艦造船の機能を保有

艦船の繋留所や修繕のためのドックを併設

- ・ 動乱の中、幕府により閉鎖(元治元年|1865年)

## その後

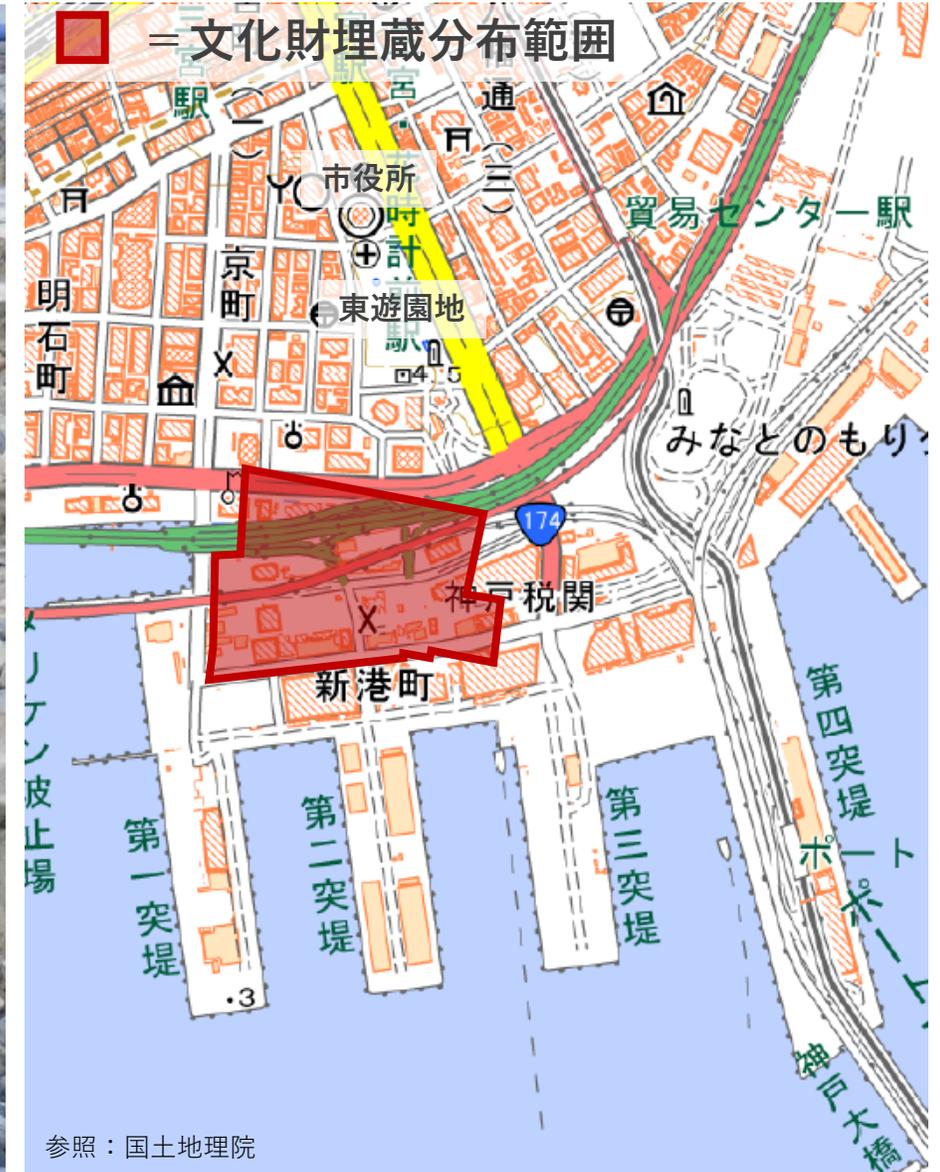
- ・ 神戸開港 (慶応4年|1868年)
- ・ 海軍操練所遺構を土台に、港湾施設を建設



神戸市立博物館蔵「神戸海軍操練所画図写」



# 海軍操練所と考えられる遺構を発見



参照：国土地理院

# 調査で確認できたこと

	年代	発見された遺構
I 期	開港以前 (1864～65年頃)	海軍操練所創設期の石積防波堤
II 期	神戸港開港期 (1868年頃)	初期の第一波止場の石積防波堤
III 期	明治時代中期以前	第一波止場の石積防波堤と信号灯の遺構

II～III期 第一波止場の石積防波堤

II～III期 第一波止場の石積防波堤

III期 第一波止場の信号灯

I期 海軍操練所創設期の石積防波堤

# 現場見学会の開催

## 日時

2024年1月13日(土) 13時～15時

14日(日) 11時～15時

## 定員

100名/回

## 受付

12月27日～1月12日 神戸市HPにて

## 内容

職員による現場の様子や時代背景説明



現場見学会(イメージ)